キタネグサレセンチュウを強力に抑制する

アウェナ ストリゴサ ソイルセイバー

土を肥やす!!
見よ!!
この根量

(左)ソイルセイバー　(右)他品種

(左)ソイルセイバー　(右)他品種

特性

①アウェナ　ストリゴサの改良種で、生産はアメリカで行っています。
②根量が多く、根張りが強いため地力増進に優れます。
③倒伏に強く、穂ばらみ期にエピクチクラワックスが出現します。
④葉幅が広く茎太で雑草抑制効果が高いです。
⑤春播きすることで、より一層の乾物収量が得られます。
（②～⑤の表現は従来のアウェナ　ストリゴサとの比較表現です）

※「アウェナ　ストリゴサ」とは、これまで一般的に「えん麦　野生種」として表現したものと同じ意味です。

縁の下の力持ち！その名は

アウェナストリゴサ ソイルセイバー

利用用途

●キタネグサレセンチュウ対策

ダイコンやニンジン、ゴボウなどを加害するキタネグサレセンチュウに対し、強力な密度抑制効果があります。

●アブラナ科根こぶ病対策（おとり効果）

アブラナ科作物の前作に作付し、アブラナ科根こぶ病の休眠胞子の発芽を促しますが、発病はせず菌密度を軽減させます。※

●バーティシリウム萎凋病対策

バーティシリウム萎凋病を助長するキタネグサレセンチュウを抑制し、結果発病を抑制します。

※オラクル以外の根こぶ病殺菌剤を併用すると、おとり効果が期待できません。

◎播種期・すき込み期

地　域	播種適期	すき込み期
北海道（道南・道央 道北・道東）	5月～6月（春播き）	播種後60～70日後（出穂始めにすき込み）
	8月（晩夏播き）	
東北～中部高冷地	4月～6月（春播き）	
	8月～9月上旬（晩夏播き）	
中間地～暖地	3月～5月（春播き）	6月～7月
	8月下旬～9月中旬（晩夏播き）	年内すき込み
	10月～11月（秋播き）	翌春すき込み

播種量

・10～15kg／10a
・ソイルセイバー播種後は、覆土・鎮圧を行ってください。
・センチュウ被害の常発畑では、密度抑制効果を高めるために15kg／10aを目安とします。また、雑草が発生すると有害センチュウを増やす可能性があるので、雑草対策を十分に実施してください。

施肥量

・通常は無施用ですが、肥沃度の低い土壌ではN－P－Kで各4～5kg／10aを施用します。

すき込みと腐熟期間

・すき込みは出穂始めを目安に行います。後作はすき込み後20～30日後に播種、または定植します。その間に2～3回耕起し、腐熟を促進します。

◎ソイルセイバーのキタネグサレセンチュウ抑制効果

（2003年　カネコ種苗(株)くにさだ育種農場）

	キタネグサレセンチュウ密度（頭／20g生土）		
	播種時	すき込み時	減少率（%）
ソイルセイバー	65.3	4.4	93
ニューオーツ	28.7	2.8	90
休閑	47.0	14.9	68

試験地：長野県南佐久郡南牧村
試験期間：8月3日～10月10日
播種量：10kg／10a
無施肥、前作グリーンボール

●お求めは…

カネコ種苗株式会社 本社・緑飼部
〒371－8503　群馬県前橋市古市町1－50－12
☎027(253)0561 FAX027(290)1045

'18.10 改訂